

HP: <http://rakuno.org/>



風声雪語 — 野幌だより —

酪農学園同窓会連合会ニュースター

高校・短大・大学 同窓生関連の最近の話題

北海道第4地区（道北）上川第二支部設立総会報告

トピック
HPの更新状況から
○高等学校関連

○短期大学関連
・IIコース記念誌発刊

○大学関連

○地区支部同窓会関連
2015年

- ・酪小獣九州ブロッグ研修会
- ・福井県支部総会
- ・大分県支部設立総会

2016年（案内）

- ・緑風会総会懇談会
- ・長崎県支部新年会
- ・十勝支部総会
- ・沖縄県支部総会
- ・鹿児島県支部総会
- ・茨城県支部総会
- ・北海道北空知支部総会
- ・酪小獣大阪会総会
- ・長野県支部総会

上川第二支部（富良野地区、占冠村在住会員）の酪農学園同窓会設立総会が11月28日（土）午後3時から「ふらのワインハウス」を会場にして28名の出席者により実施された。

学園からは仙北富志和学園長、榮忍校長、永田享後援会常務。同窓会から小山久一同窓会長と浦川。北海道第4地区から岸本源正会長にご出席いただいた。

設立までに4回の世話人会が行われており、当日は全地域から高校、短大、大学各学科の同窓生が出席していた。設立総会は、まず冒頭に記念撮影が行われ、その後設立総会となった。

小澤誠一氏の司会と開会挨拶で始まり、世話人代表として中村博氏が経過報告を含めて挨拶した。来賓挨拶では小山久一会長が「酪農学園同窓会」の現況や組織について紹介し祝辞を述べた。仙北学園長は学園の近況や創立者生誕



130年記念の著書の紹介等を行った。榮高校長はとわの森三愛高校に係る在籍現況等を紹介した。

議事に入り、中村世話人代表を議長として1)支部会則案について審議し、後藤正紀氏から逐条をご説明いただき、質疑の結果、拍手で会則原案どおりに承認された。なお支部総会は3年に1度開催することとした。2)支部役員案についても後藤氏から予め世話人会で検討された原案資料が配布され拍手で原案を承認した。

同窓会の現況（卒業生数）

2014年度 累計卒業生数

大学院 計	1,528名
大学 計	27,925名
短大 計	9,487名
高校 計	19,246名
合計 計	58,186名
酪農義塾 計	303名
酪農学校 計	

92,000名

総合計

150,489名



地区支部の設置状況（ ）は未設置

北海道1区	3支部（1）（江別）
北海道2区	6支部（3）（空知1）（胆振2）（日高2）
北海道3区	5支部（2）（後志1）（後志2）
北海道4区	6支部（1）（留萌1）
北海道5区	6支部（0） 26支部（7）
東北地区	6支部（0）
関東甲信越地区	10支部（0）
中部地区	7支部（0）
近畿地区	6支部（0）
中国地区	5支部（1）（島根）
四国地区	4支部（0）
九州地区	8支部（0） 46支部（1）

目次：

最近の話題	1
同窓会現況	1
単位・地区同窓会	2
職或OB会報告	3
同窓会報告	4
編集後記	4

地区支部同窓会紹介コーナー

近畿地区兵庫県支部総会



去る11月15日(日)神戸市元町のパレス神戸を会場にして、第二回となる兵庫県支部総会が36名の出席者により開催されました。本学からは同窓会の小山久一会長が出席しました。事務局の司会で進行し、伊南晋一副支部長の開会のことばで始まり小河晴夫支部長から来賓の紹介が行われました。

総会は小河支部長の歓迎挨拶のあと、獣医14期長濱伸也氏を議長に選出して議事が進行した。平成26年度事業報告、会計報告並びに監査報告が行われ、承認された。平成27年度事業計画(案)が提案され、承認された。平成28年度役員の選出方法について審議され、承認されました。

議長解任のあと、その他として河野事務局長(入試アドバイザー)から大学の入試に関する説明が行われました。講話では小山久一会長が大学の歴史及び近況について説明されました。続いて行われた講演では林家卯三郎氏による洒落な落語で会場が盛り上がり、和やかになりました。

記念写真撮影のあと、懇親会が行われた。小河支部長の挨拶、栄校長の祝辞のあと、山本浩光近畿地区会長の乾杯のご発声で会食が始まりました。歓談では一人ずつ全員が自己紹介をし、最後は全員で肩を組んで「酪農讃歌」を合唱し、酒井監事の一本締めでお開きとなりました。

来年はみんなが声掛けをしてたくさん集めようという声が上がっており、大学との連携、大学のバックアップ体制への要求が出るなど盛り上がりました。また近畿地区の会長・顧問、各支部長全員に参加いただき、近畿地区の連帯感が感じられる総会となりました。(文責 河野雅晴)



中国地区岡山県支部同窓会



さて、先にご案内しました「酪農学園大学公開講座」に合わせた「酪農学園同窓会岡山県支部同窓会」を平成27年11月21日(土)18時より岡山市北区下石井2-6-412丁目6番41号 ピュアリティまきびにおいて開催いたしました。

同窓会には、酪農学園同窓会々長 小山久一様、田村豊酪農学園大学獣医学研究科長のご出席を始め、県内外各地より全19名の同窓生が集いました。

同窓会開会にあたりまして、酪農学園同窓会長小山久一氏よりお祝いを頂き、現在の学園の出来事についてご説明いただきました。また、酪農学園獣医学類 田村豊教授よりお言葉を頂きました。謹んで感謝いたしております。

中国地区事務局長 高蓋和朗様の乾杯の音頭で全員が乾杯、各人の自己紹介、その後、懐かしい昔話に花を咲かせていました。また、これからの農業問題・TPPについても熱く語り合いました。最後に締めの乾杯の後酪農讃歌を全員で合唱して同窓会を終了しました。

今回欠席された方の中にも次回の出席を希望している方が何人もおられました。また、今回ご出席頂きました方々も何年後にはまた再開することを誓い合い散会となりました。次回開催の折には、より多くの同窓生とお会いできることを祈念しております。(文責 立原英夫)



近畿地区和歌山県支部同窓会

2015年11月29日(日)、和歌山市のホテルアバローム紀ノ國で第2回酪農学園同窓会和歌山県支部総会が行われました。当日は、本部より堀内信良同窓会副会長、福山二仁常務理事、近畿地区より山本浩光地区長、山川仁侍副地区長、清水良昭地区顧問の出席をいただきました。近畿の各府県より支部長の出席もいただき、29名の同窓生が集うことが出来ました。

支部長より開会の挨拶の後、副会長及び常務理事からの挨拶をいただき、和歌山県支部の経過報告並びに会計報告を行いました。最後に入試アドバイザーより、本年度の入試情報や説明がありました。

地区支部同窓会・職域OB会（酪小獣）紹介コーナー

その後近畿地区長山本浩光氏の乾杯の発声を皮切りに、懇親会に入りました。今回の特徴は新しく参加された方もあり、今年卒業された新メンバーも加わり、新旧入り交じっての懇親会となりました。特に近畿の各府県の支部長及び他府県からの参加もあり、まさに近畿は一つという感が強かったです。

最後に、酪農賛歌を合唱し、会は盛会の内にお開きとなりました。和歌山城のライトアップとクリスマスのイルミネーションが対照的でした。第3回の開催を期して、解散となりました。（文責 支部長 澤竹孝幸）

北海道第三地区（道南）地区会



11月21日（土）11時から八雲駅傍の「まるみ食堂」において、第4回となる道南地区会が開催された。この会は北海道第3地区の役員や関係者が毎年11月の第三土曜日に開催している。

安藤廣事務局長の司会進行が進められ、始めに地区会長の都築信夫氏の開会挨拶が行われた。安藤事務局長から北海道第三地区（道南）の状況が報告された。

本学からは酪農学園同窓会事務局 浦川が出席した。学園資料紹介や同窓会資料をもとに「酪農学園同窓会」の名称変更や役員改選、会則改正等の現況を紹介して北海道第三（道南）地区の未設置支部（後志第一・第二支部）の組織化をお願いした。

その後、八雲を中心にした16名の出席者から自己紹介と近況報告が行われた。後志支部からも出席の予定であったが体調不良等により欠席した。

報告・発表では渡辺兵衛牧師からキリスト教八雲教会100年記念式典が10月18日に行われ、本学から栄校長もご出席いただき、100周年をお祝ったことが報告された。「酪農讃歌」の「乳房もつ神」の意味について賀川豊彦氏の資料紹介を含めて氏の考えを紹介した。また、安藤事務局長は内村鑑三著「デンマルク国の話」の一節を朗読して名著の紹介を行った。

情報交換では安藤事務局長から八雲町の郷土資料館や梅村庭園、八雲町木彫り熊資料館について紹介した。最後は河村正人氏（酪農7期）の演奏に合わせて出席者全員で酪農讃歌を合唱して、最後に生出正実氏（大学1期）の閉会挨拶で終了した。

酪小獣東北設立総会



酪小獣東北の設立総会ならびに小動物研究会が11月15日（日）に松島「ホテル大観荘」で催され、皆様のおかげで東北にも酪小獣を立ち上げることができました。

<設立までの経緯>

設立の準備は6月から取り掛かり、まず東北6県の獣医同窓会支部長に趣旨説明と発起人受諾をお願い、同時に実務を取り仕切る実行委員の推挙を依頼することから始めた。次に、名簿作りのため、発起人・実行委員の役員を中心に同窓生の所在把握に協力いただき、東北地方には小動物臨床に携わる者（開業、勤務含めて）が約80名ほどいることを突き止めた。

<総会>

円滑に議事を進めるため（多くは顔を合わせるのが初めての面々なので）、事前に別室で役員会を開き、進行手順や議決案件について打ち合わせをしてから総会に臨んだ。

総会は初めに発起人代表の後藤忠彦（9期）が酪小獣設立の趣旨説明ならびに小動物獣医師の置かれている状況について話をし、次いで来賓の福山二仁（3期）学園常務理事から、同窓生連携のもとに成り立つ酪小獣が酪農大学の発展と名声の礎になることを期待する旨の激励のお言葉を頂戴しました。

総会は議長に久保明氏（4期）を指名し、大江通氏（11期）の司会で議事を進めた。

まず、会則（別添）の制定を議題とし、

（1）役員は発起人・実行委員を軸に参加者の中から選出。

（2）会計年度を7月1日から6月30日とし、総会は7月に行う。

（3）次回開催は再度仙台担当で行うなどを満場一致で可決した。

その他の追加説明として、酪小獣会員は診療・手術・セミナー等の映像を教材としたe-learningの視聴ができる旨の説明が事務局からあった。

<小動物研究会>

同じ会場にて中出哲也教授により大学の近況・施設状況についてスライド説明を受けた後、「間違いやすい×線像」と題して日常的に小動物臨床獣医師が出会う症例について貴重な講演をいただき、質疑応答を受けた後、平忠男氏（9期）の閉会の辞で幕を閉じた。

懇親会まで多少の時間があつたので、各人部屋にもどって浴衣に着替え、風呂に入ってから酒宴の会場に入った。もちろん泊まらない方の分も浴衣を用意し、入浴していただけるように手配した。

（紙面の都合上一部省略）

〒069-8501

北海道江別市文京台緑町582

酪農学園同窓会

電話 011(386)1196

FAX 011(386)5987

Email: rg-dosok@rakuno.ac.jp.



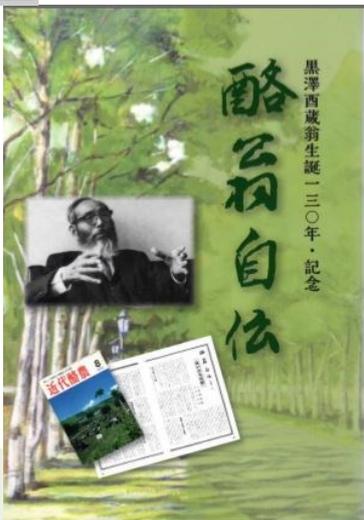
同窓会は卒業生を応援します



図書進呈のお知らせ

酪農学園では仙北富志和学園長編集により黒澤西蔵翁生誕130年を記念し「近代酪農」に掲載された『酪翁自伝』という書籍を12月1日に発行しました。

創立者の自伝が浅田英祺氏によりまとめられています。希望者は350円分の切手（郵送費実費分）でお送りします。上記同窓会事務局までお申込み下さい。（A5版 287頁）



中部地区福井県支部総会



新幹線の早期開通を願って駅舎や駅周囲の工事が進捗中、12月6日（日）、午前10時半から福井駅東口アオッサ606号会議室において、12名の参加で開催された。福井県支部は昭和63年に設立され、その後、一度総会が開催された後休眠状態に入っていたが、再活動を期しての総会開催となった。

仲村支部長の挨拶の後、小山久一同窓会長から、同窓会は全国で72支部があり、どこへ行っても同窓生がいるので心強い。地区や支部の組織化、活発化が最も大切とのお挨拶をいただいた。次に、とわの森三愛高等学校 榮 忍校長から、高校は普通科6コースになって6年目になるが、少子化の影響を受けており、高校の問題はいずれ大学の問題となることから、新学長の下で大学の入試改革などに取り組んでいると挨拶いただいた。終わりに美しい歌声で讚美歌312番を歌われ、酪農学園らしい同窓会総会の始まりとなった。

議事では、まずこれまでの経過報告と中部地区同窓会の役員回り順について説明があった後、前回総会からの残余金、会則の改正、会費の額、役員改選について事務局案が示され、全て承認された。会則の改正では、支部総会は2年に一度開催することとした。

出席会員には70歳台から今年卒業した若い方まで居ることから、議事終了後一人ずつ学校や恩師の思い出、近況などについて自己紹介を行った。

その後、3階に会場を移して懇親会が行われ、和気あいあいとした雰囲気の中で和やかに歓談が続いた。なお、集合写真を最初に取り損ねて、懇親会の暗い会場で、赤い顔でしか残せなかったことを反省している。

今後の主なスケジュール

2016年

- 1月
- 07日（木）緑風会総会・新春懇談会
- 16日（土）大学入試センター試験
- 17日（日）大学入試センター試験
- 23日（土）北海道第5地区十勝支部総会
- 30日（土）九州地区沖縄県支部総会
- 31日（日）九州地区鹿児島県支部総会
- 2月
- 04日（木）大学第一期学力入学試験（獣医学類）
- 05日（金）大学第一期学力入学試験（他学群）
- 07日（日）関東甲信越地区茨城県支部総会（つくば）
- 28日（日）酪小獣大阪会総会・講習会
- 3月
- 05日（土）大学第二期学力入学試験
- 06日（日）酪小獣中国設立総会（予定）
- 12日（土）関東甲信越地区長野県支部総会
- 18日（金）大学学位記授与式

あ と が き

2015年も残すところあと、数日になりました。学長の解任や新学長の選任、全日本ホルスタイン共進会の北海道開催等大きな出来事もありました。

同窓会では名称が「酪農学園同窓会」となり、従来の「連合会」から一歩踏み出しました。また役員も大幅にも変更になりました。

地区支部の設置では北海道第4地区では上川第二支部、九州地区で大分県支部が設立されました。

全国12地区72支部のうち12地区64支部が設置されたこととなります。しかし北海道に未設置支部が7箇所もあり、大きな課題となっています。次年度以降組織化の推進が望まれています。

府県では島根県を残して45府県に支部が設置されました。

今年は学園創立者黒澤西蔵の生誕130年にあたり、記念出版が2冊ありました。1冊は「健土と健民」に虹を架けた農思想 仙北富志和学園長編著。もう1冊は「酪翁自伝」仙北富志和学園長編著。希望者は送料を添えて申し込みいただければお送りします。

また12月には短大Ⅱコース20年の軌跡を綴った「ふみあと」が発行されました。こちらも送料を添えて申し込みいただければお送りします。